

白鳥さんまた来てね!

冬の訪れを伝えてくれる北の使者とも別れの時期。飛び立つ白鳥との別れを惜しむかのように雪が降り積もり、和やかな光景が見られました。

(3月8日、白鳥とのお別れ会)



目次 Contents

地域医療さらなる充実へ 2

行政情報便
●消防新サービス 10
●市長ですこんにはほか

地域の話題 14
●NEWS東西南北

情報information 16
●お知らせ
●いどぼたプラザ

読者の声 20

思えば遠くへ来たもんだ 22
●福田美代子さん(大森)

巧(たくみ) 23
●新山昭吾さん(平鹿)

横手遺産 24
●板碑(増田)



連携による地域医療水準の向上に期待します

横手市長
五十嵐忠悦

新平鹿総合病院の竣工を心からお慶び申し上げます。

新病院が担う三次救急医療機能は、県の地域医療計画の中でも県南地区に求められてきた高度な救命救急機能です。救急センターや周産期医療、地域療育医療拠点施設の機能を併せ持ち、これまでより様々な医療に対応できると共に、さらに精度や密度の高い医療を市民の皆さんに提供できる体制が整うこととなります。新病院が市立横手病院、市立大森病院、市内の開業医の皆さんや各医療機関と連携し、地域医療のさらなる充実をもたらすことに、期待も膨らんでいるところです。また、新病院への交通手段として大きな役割を担っているバス路線についても、羽後交通さんの協力により、より利用者に配慮した経路に変更されるなど、側面の整備も整ってきています。

4月1日には、陸上自衛隊などの協力を得た大規模な患者搬送が行われます。搬送に際しては交通規制も行われることから、市民の皆さんには、ぜひスムーズな搬送となるよう、ご協力いただきたいと思っております。

【用語解説】

■三次医療機能

高度かつ専門的な医療を提供する機能。

■救急センター

脳卒中、心筋梗塞、全身外傷、中毒などの重症及び複数の診療科領域にわたる重篤救急患者の医療を確保するための高度な診療機能を有し、24時間診療体制を備える機関。

■周産期医療施設

母体または児におけるリスクの高い妊娠に対する医療及び比較的高度な周産期医療を提供する。原則、新生児の一貫した管理を行う集中治療室を備える機関。

■地域療育医療拠点施設

家庭や地域における障がい児の生活を支援するため、専門のスタッフを配置し、障がい児療育に係る診察、訓練、歯科診療などを行う専用スペースを備える機関。



平成13年から移転新築工事を進めてきた平鹿総合病院。工事もこの3月で終了し、いよいよ4月1日、開院を迎えます。

新病院は、県からの要請を受けた三次医療施設としての機能を兼ね備え、県南地区の拠点医療施設として生まれ変わります。

平鹿総合病院の移転新築に伴い、施設の概要と患者搬送の内容、バス路線の変更等、市民の皆さんの生活に関わる部分についてお知らせします。

4月1日開院

新・平鹿総合病院

地域医療さらなる充実へ



●病院内



最新の放射線治療機をはじめ、高度な医療機器を導入。より良い診察と治療が行えます。



一人ひとりに窓がある個室の4床病室。部屋毎にトイレ、洗面、ロッカールームが設置されています。



平鹿平野を一望できる展望レストラン。晴れた日には雄大な鳥海山も見る事ができます。



それぞれの診察室が区切られ、プライバシーに配慮された外来部。現在の受診状況が一目でわかる設定。

●施設概要①

- 敷地面積 98,952.18㎡ (現在の8.6倍)
- 建築面積 14,904.84㎡
- 延床面積 44,291.82㎡ (現在の1.53倍)
- 駐車台数 1,287台

●施設概要②

9階建の新病院。1階および2階が外来部。一般病棟は3階から8階まで。周産期医療機能(NICU)や、女性病棟、産婦人科などは4階に。9階には展望レストランや理・美容室、退院前に使用する大浴室などが設置されている。延床面積は、現在の約1.5倍の広さに。

- 9F ●展望レストランほか
- 8F ●病棟ほか
- 7F ●病棟ほか
- 6F ●病棟ほか
- 5F ●病棟ほか
- 4F ●病棟ほか
- 3F ●病棟・手術室ほか
- 2F ●外来(産婦人科・小児科ほか) 人工透析・農村医学研究所ほか
- 1F ●外来(内科・外科ほか)・救急・健診・放射線ほか

■所在地

〒013-0042
横手市前郷字八ツ口3-1

■電話番号

0182-32-5121(代)
0182-32-5124(夜間専用)

平成13年から建築工事を進めてきた新平鹿総合病院(以下、新病院)は、横手駅東側から駅西側の前郷字八ツ口地区に新築移転となります。現在は本体工事がほぼ完了し、医療機器の設置等、開院に向けた最終の調整がなされているところです。

新病院は、県からの要請を受けた三次医療機能(3ヶ用)語解説参照を兼ね備えた高度医療機関として生まれ変わります。救急センターをはじめ、脳血管疾患、心疾患にかかる高度かつ専門的な医療を提供する三次医療機関は、いずれも県中央部に集中しており、県南地区への早期な体制整備が求められていました。新病院は、それら高度医療機能を有し、県南地区の拠点病院としての役割を担うこととなります。

建物は、鉄筋コンクリート造り9階建、病院本棟は、より耐震安全性の高い免震構造となっています。病床数は、県が定めている地域医

療計画との調整により、現在の650床(一般640床・結核10床)から64床減少し、586床(一般580床・結核6床)になります。病室は現在よりも個室が増え、多床室も最大で4床と、ゆったりとした設定。部屋ごとにトイレ、洗面台、ロッカー等が配置され、どの病床にも採光が施されるなど、明るく安らぎのある空間となっています。

一般外来は、エスカレーターで結ばれた1階と2階に設置。1階には、内科や外科など7科が、2階には小児科や産婦人科など9科が設置されています。

また、現病院で課題となっていた駐車場については、1、287台分(うち、外来駐車場906台)を有するほか、4月1日からは、路線バスの運行経路が大幅に見直されるなど(8ヶ参考)、施設利用全般にわたり、大幅に利便性が向上しての開院となります。



地域医療
さらなる充実へ

高度な医療機能を有する
県南の拠点病院が誕生

Hiraka General Hospital



移転に伴うお知らせ

診療開始は4月3日から

移転に伴う混乱を避けるため、3月31日(土)から4月2日(月)までの3日間は、臨時の受け入れ体制となります。
 なお、救急外来については、3月31日(土)午前8時30分から4月3日(火)午前8時30分まで受け入れできませんので、他の医療機関を利用していただくことになります。

●新病院開院までの日程

月日	入院診療	外来診療	救急外来
3/31(土)	現病院	休診	終日受け入れできません
4/1(日)	新病院	休診	終日受け入れできません
4/2(月)	↓	休診	終日受け入れできません
4/3(火)	↓	診療開始	8:30まで受け入れできません

●新病院を公開します●

平鹿総合病院では、地域の皆さんに新病院に対する理解を深めていただくために、開院前の3月21日に病院内を公開します。地域の皆さんどなたでも見学できますので、ぜひおいでください。

■一般公開 3月21日(水)春分の日
 午前10時～午後2時

【患者搬送事業の概要】
 ■日時 4月1日(日)
 午前8時～午後1時30分(予定)
 ■搬送予定患者数 約450人

4月1日に移転新築となる平鹿総合病院では、同日、現病院から新病院への患者搬送が実施されます。
 当日は、陸上自衛隊第9師団の協力を受け、同自衛隊所属の救急車両5台、市および近隣の消防機関の救急車や市が所有する福祉車両等、合計27台で患者搬送を行います。
 なお、救急車両については、患者搬送時にサイレンを鳴らすとともに、バス路線を除く現病院周辺の道路に通行止め等の交通規制が予定されています(関係する地域住民の皆さんには、別途、平鹿総合病院からお知らせがあります)。地域住民の皆さんには大変ご迷惑をおかけしますが、円滑な搬送のため、ご協力をお願いいたします。



●現病院から新病院への患者搬送が一斉に実施されます

地域医療
 さらなる充実へ

4月1日(日)入院患者搬送実施
 円滑な搬送にご協力ください

●陸上自衛隊に協力を要請●

患者搬送を実施するにあたり、横手市および横手市消防本部、平鹿総合病院、陸上自衛隊、横手警察署、横手保健所、大曲仙北消防本部、湯沢雄勝消防本部による合同調整会議を開催しました。そして、2月23日、陸上自衛隊第9師団と横手市の間で「平鹿総合病院患者輸送事業における陸上自衛隊第9師団の協力に関する協定」締結式が行われました。



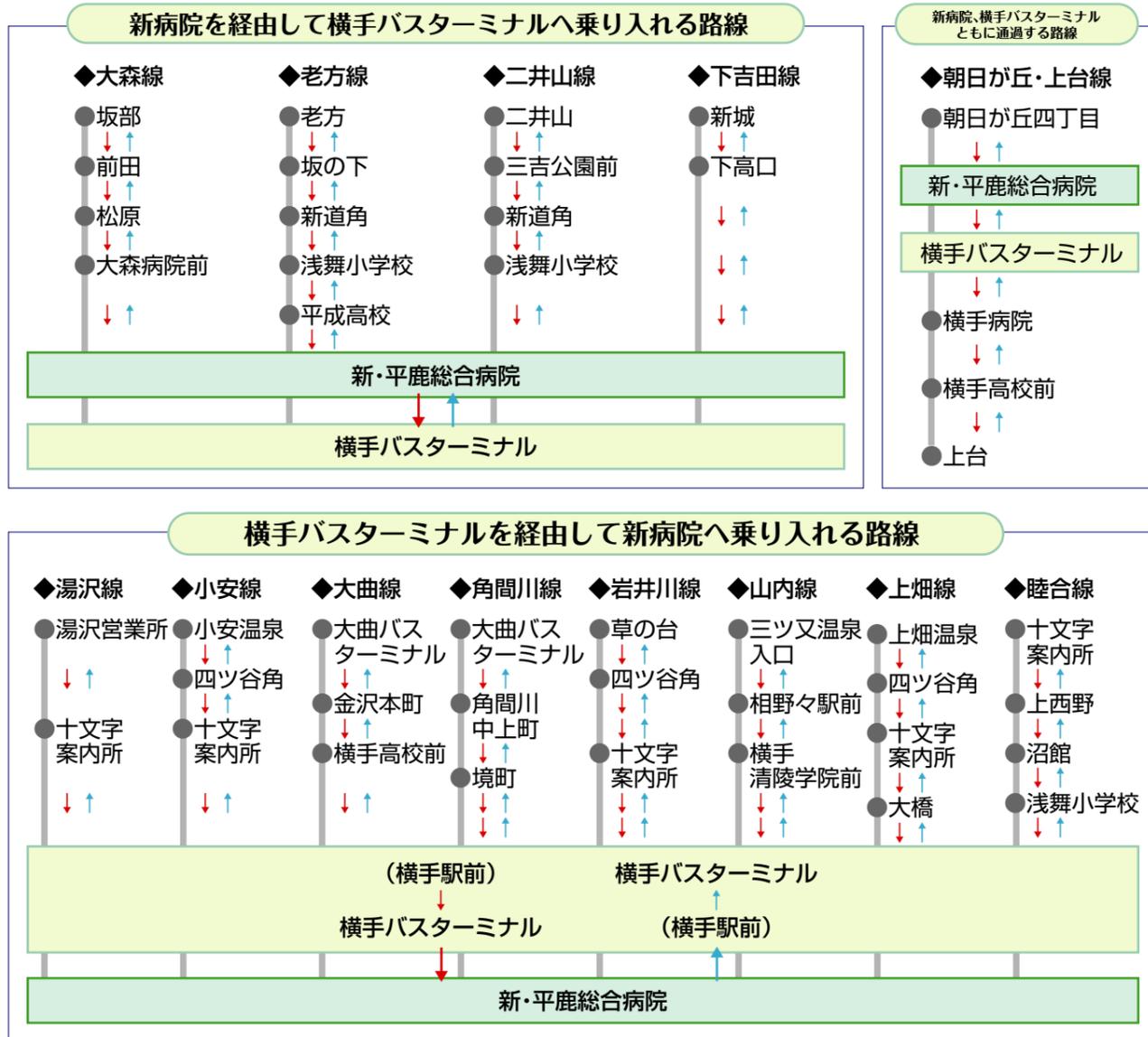
陸上自衛隊第9師団(青森市)で行われた締結式

新・平鹿総合病院を經由する路線バスの主な経路

市内各地域から新病院に向かう路線バスについて

病院の利用時間等を考慮し、一部の便が新病院を經由または発着とするダイヤ編成になっています。原則として、市西部（雄物川、大森、大雄および平鹿の一部地域）からの路線は、新病院を經由した後、横手バスターミナルが終着となり、市北部（金沢、黒川、境町方面）、市東部（山内方面）、市南部（増田、十文字、平鹿の一部地域）からの路線は、横手バスターミナルを經由し、新病院へ乗り入れる経路となります。

※同じ路線でも、曜日や利用時間等によって経路等が異なる場合がありますので、詳細やご不明な点は、羽後交通株式会社へお問い合わせください。



路線バスが正面玄関横に直接乗り入れ、誰もが利用しやすい病院になります

市では、平鹿総合病院の移転を機に、新病院への乗り入れを含めたバス運行経路等を見直すことについて、平鹿総合病院やバス事業者との間で検討を重ねてきました。

話し合いは、地域協議会や地区会議などを通じて市民の皆さんから寄せられた意見・要望をふまえ、利用者の利便性の向上を目指して進められました。その結果、一部の路線を除いて、新病院が開院する4月1日から新しいダイヤ編成で運行されることになりました。

ただし、新病院への路線バス乗り入れは、患者搬送の都合により4月2日からになります。4月1日は新病院へ乗り入れない臨時経路になりますので、ご注意ください。

地域住民の移動手段を確保するための重要な公共交通機関である生活バス路線は、バス事業者の営業努力のほか、欠損（赤字）の一部を国や県、市が補てんすることにより運行されており、市では、今後もバス事業者と連携しながら、利便性のさらなる向上や利用の促進に努めたいと考えています。

なお、路線及びダイヤ変更の詳細は、各地域局より発行されるチラシをご覧ください。

■問合せ
羽後交通株式会社営業部輸送課
☎ 3214154



バス待合室も用意されています

●バス路線変更の主なポイント

- (日)新病院に乗り入れない現行の運行経路と、新病院を經由または発着とする新経路の併用となります。
- (月)ダイヤ編成が大幅に見直され、横手バスターミナルから新病院への乗り継ぎがスムーズになるダイヤ編成となります。
- (火)地域の要望によるバス停が新設されます。

地域医療
さらなる充実へ

利便性の向上を目指し
バス路線が変更になります

Buss Line

消防
消防本部新通信指令システム導入に伴う
新たなサービス運用開始のお知らせ

通報場所を特定迅速な対応が可能に
携帯電話・IP電話等からの119番「位置情報通知システム」

市消防本部では、携帯電話およびIP電話等からの119番緊急通報の際の「位置情報通知システム」の運用を4月1日から開始します。

1. 位置情報通知システムの概要

携帯電話、IP電話等から119番緊急通報があった場合、音声と併せて通報者の発信位置に関する情報が電話事業者から消防本部に送られ、通信指令室のモニター地図上に通報者の位置が表示されます。屋外からの通報で居場所を十分に説明できないことが多いことから、このシステムを導入し、位置情報を迅速に把握することで早期の消火、救急・救助活動に役立ちます。

2. 対象となる電話および通知される位置情報の内容

高速データ通信が可能ないわゆる第3世代携帯電話およびIP電話、直取電話（NTT以外の電話事業者が提供する固定電話。電話番号が050で始まる電話番号を除く）が対象。携帯電話からの通報の場合には、GPS（衛星利用測位システム）機能の有無などで特定できる場所の範囲が異なります。また、IP電話、直取電話からの通報の場合は、契約者情報（住所および氏名）が通知されます。

3. ご利用にあたっての注意事項

① 口頭による情報伝達について
状況により、位置情報が十分に確認できない場合がありますので、119番緊急通報に際しては、これまでもどおり口頭で住所や目録物等をお伝えください。
② 「1184」を付加した通報について
対象となる電話からの通報であっても、「1184」を付加して119番緊急通報を行った場合、位置情報は自動的に消防本部に通知されません。ただし、この場合でも、人の生命、身体等に差し迫った危険があると認められ、通報内容から直ちに位置情報を知ることができないと判断した場合には、電話事業者から位置情報を取得することがあります。

ファクス送信用緊急通報用紙（見本）
※市ホームページから入手できます。
【横手市消防本部 FAX119番 送信用紙】
《大至急》
用紙をセットし、FAX番号は「119」です
□ 救急です
誰ですか？
・自分
・家族
・その他
男・女（オ）
どうしましたか？
・病気
・けが
・その他
意識はありますか？
・ある
・ない
□ 火事です
何が燃えていますか？
・自宅（小屋）
・とりの家（小屋）
・車
・その他
3階以上の建物ですか？
・3階以上の建物です
・いいえ
住所：横手市
お名前： FAX番号：
※住所・お名前・FAX番号は、有事に備えて記入しておきましょう
（※消防署から送信する際使用します）
YOKOTE CITY

会話ができない場合の119番通報
ファクスおよび電子メールによる通報が可能に

◆ファクスによる119番通報
聴覚や音声・言語機能等に障がいのある方および身体の変調等により急に話すことができなくなった方向けに、ファクスによる119番受け付けを行います。
「ファクス番号は、局番なしの119番」です。
ファクス送信用紙は、市消防本部のホームページからダウンロードするか、市消防本部、消防署、各分署および各地域局市民生活課、福祉保健課で事前に入手のうえ保管し、緊急時に備えてください。また、この他の様式でも、必要事項（住所、氏名、ファクス番号、救急または火災等）を記入すれば通報を受け付けます。なお、緊急時には、通報ファクスを受信後「救急車が向かいました」などの返信ファクスを送信し、対応を指示します。

◆緊急メール通報
聴覚や音声・言語機能等に障がいのある方を対象に、電子メール契約機器（パソコン、携帯電話等）を利用した緊急通報の受け付けも行っています。
メールによる緊急通報システムのご利用は、登録制となっており、事前に通報用メールアドレスを取得していただく必要があります。市消防本部、消防署、各分署および各地域局市民生活課、福祉保健課で配布している利用案内をご覧ください。また、市消防本部ホームページの案内をダウンロードして内容をご確認のうえ、消防本部までお申し込みください。なお、緊急時には、通報メールを受信後「救急車が向かいました」などの返信メールを送信します。この返信メールが届かない場合は、緊急メール通報が届いていない可能性がありますので、近くにいる方に協力を求めるなど、他の手段を利用して通報してください。

◆119番位置情報通知システムおよびファクス・メール緊急通報に関する問合せ
市消防本部 通信指令室
☎32-11112
☎32-11146
※119番は緊急通報用電話番号です。問い合わせには使用しないで下さい。

4月8日(日)は秋田県議会議員一般選挙の投票日です
～いかなくっちゃ！ 元気な秋田の 未来のために～

■投票日時
4月8日(日) 午前7時～午後7時
※一部、午後6時と午後6時30分までの投票所があります。

■投票できる方
年齢 昭和62年4月9日以前に生まれた方
住所 平成18年12月29日以前から横手市に居住し、住民基本台帳に登録されている方。
なお、今回の選挙では、横手市から県内に転出した方（1回だけ住所を移した）で、転出先の選挙人名簿に登録されていない方は、住民票の写し又は証明書を提示してもらおうと、横手市で投票することができます。ただし、転出先の選挙人名簿に登録されている方は転出先で投票することになります。

■期日前投票
投票日に都合が悪く投票所に行くことができない方は、期日前投票を行ってください。

期間 3月31日(土)～4月7日(土)
時間 午前8時30分～午後8時

場所

地域	期日前投票所
横手	横手庁舎内
増田	増田庁舎内
平鹿	平鹿庁舎内
雄物川	雄物川庁舎内
大森	大森就業改善センター内
十文字	十文字B&G海洋センター内
山内	山内庁舎内
大雄	大雄庁舎内

■不在者投票
病院や老人ホーム等に入院や入所されている方は、指定施設であれば、不在者投票ができます。職員や施設長に申し出て、手続きをしてもらい投票してください。

■郵便投票
郵便投票証明書をお持ちの方は、4月4日まで投票用紙を請求することで自宅から郵送で投票できます。郵便投票証明書をお持ちでない方も、身体障害者手帳をお持ちで一定の要件を満たす方や介護保険の被保険者証「要介護5」の方で、自分で字を書くことのできる方は、事前に請求することで自宅からの投票が出来ます。この場合、証明書が交付されるまでの日数が2日ほどかかりますので、お早めに手続きしてください。

「どんなことでも お尋ねください」
入場整理券は、棄権を防止するためと、選挙人名簿に登録された本人であることをスムーズに確認するため、ハガキでお送りしています。名簿で名前が確認できれば、ハガキがなくても投票できますので、忘れてしまったときは投票所の受付にお申し出ください。
このほか、選挙について困ったこと、わからないことなどがありましたら、お気軽にお問合せください。

声かけあって
投票へ！
■問合せ
市選挙管理委員会
☎32-2537



企画
市民主体の活動を応援します
平成19年度「みんなが主役のまちづくり活動補助金」受付を開始します

市民活動を元気づけ、地域の活性化を図ることを目的に、主体的なまちづくり活動を支援する、「みんなが主役のまちづくり活動補助金」の申し込みを受け付けます。ぜひご利用いただき、魅力あるまちづくりにご協力ください。

■補助対象者
市内の団体等で、新規の活動や既に取り組んでいる活動を拡充しようとする場合に補助金を交付します。

■補助対象経費
事業費が20万円以上の事業に要する経費としますが、団体等の運営経費、食糧費に相当する経費、その他適当でない認められる経費は、補助対象外となります。

■補助金額
(日)補助率 補助対象経費の2分の1以内
(月)限度額 事業1件につき50万円を上限に予算の範囲内
※事業が継続する場合は、事業の自立を促すため、補助金の交付期間を原則3年までとします。

■補助金の決定方法
書類審査により、補助金交付の適否および予算の範囲内で補助金額を決定します。

■受付期間
前期= 4月2日(月)から4月27日(金)まで
(4月から9月まで実施分)
後期= 8月1日(水)から8月31日(金)まで
(10月から翌年3月まで実施分)

■申込方法
市企画課（本庁南庁舎内）または各地域局地域振興課で配布している要綱をご覧のうえ、申請用紙に記入して提出してください。要綱、申請用紙は市ホームページからもダウンロード可能です。

■問合せ
市総務企画部企画課（本庁南庁舎内）☎35-2164
ホームページ=http://www.city.yokote.lg.jp

がんばれ スギッ子



～国体だより～
No.12

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会 横手市ボランティアを募集します

秋田わか杉国体・秋田わか杉大会へ市民ボランティアとして参加し、半世紀に一度の思い出を作ませんか？
あなたの元気と笑顔を募集します。さあ、一緒に国体を楽しみましょう！



- 募集期間 3月1日(木)～4月27日(金)
- 募集対象 中学生以上で市内に在住・在勤・在学している方（中学生は保護者の承諾が必要です）
- 募集人数 400人
- 活動場所 市内の大会競技会場・案内所など



ボウリング競技リハーサル大会でのボランティアの皆さん

- 活動内容 ①受付・案内②会場管理③会場サービス④筆耕⑤記録
※具体的な活動内容は、応募受付後に希望調査を実施した上で決定します。
- 応募方法 応募用紙は、市報よこて3月1日号とともにお届けしているほか、市役所及び各施設、銀行、郵便局、JA等にも用意しております。応募用紙に付属しているハガキ（切手不要）に必要事項を記入のうえ、郵送してください。市ホームページからも応募することが出来ます。
※昨年6月～7月にかけて募集した横手市国体ボランティアに既に登録済の方は、今回改めて応募していただく必要はありません。
- 問合せ 市総務企画部国体推進事務局
☎35-2171 ☎32-3306

市長です

こんにちは

横手市長 五十嵐忠悦

▼伝統行事 各地域で梵天行事
特色ある伝統を粘り強く守ろうとする姿が印象的でした。合併後、地域一体となって何かに取り組むこととする機運が高まっていることは非常に心強い限りです。

▼会議 ①横手市バイオマスタウン推進協議会（2月14日・市内）
市では、資源循環型社会の構築とバイオマス（生物資源）の効果的な利活用を進めるため、年度内に「バイオマスタウン構想」を策定することとしており、構想実現のための推進協議会を産・学・官協同により組織しています。
具体的には、生ごみや食用油等の廃棄物を再利用したバイオ燃料のほか、稲から抽出した燃料や生分解性プラスチックなどの開発について検討を進め、未利用の農産物を有効に利用したいと考えています。

▼会議 ②国土交通省観光重点支援地域現地視察打ち合わせ（2月21日・湯沢市内）
昨年11月、「横手・湯沢地域」と花巻市の2地域が、国土交通省の「観光まちづくりコンサルティング事業」の重点地域に選定されています。この日は、新たな旅行企

市長の動静
（2月上旬～3月上旬）



3月1日、東京都内にて「横手市まちづくり応援団」の皆さんと意見交換

画商品の発掘を目的に、学識経験者、大手旅行会社関係者などが集まりました。そこでは、「横手・湯沢地域は観光資源の宝の山」といった意見も出され、湯沢市および関係者とのさらなる連携強化を誓った次第です。

▼懇談 ①首都圏で活躍の財界人と意見交換（3月1日・東京都内）
まちづくりについて日頃からアドバイスしていただいている皆さんとお会いする機会があり、主に首都圏の団塊世代に狙いを付けたグリーンマラソン（風景・自然を楽しむながら走るマラソン）の企画など、面白い提案を数多くいただきました。

市長面会日

3月29日(木)
午前9時～10時30分
申込期限3月26日(月)

■申込み・問合せ
市総務企画部秘書広報課秘書担当
☎35-2111 内線1033

農業委員会 4月から農業委員会総会の開催基準日が変わります

農業委員会の総会は、これまで毎月7日を基準日に開催してきましたが、農地法にかかる一部許認可事務が県から権限委譲されたことに伴い、今年4月から毎月15日を基準日として開催します。

これにより、許可申請にかかる書類の提出は、総会開催月の前月末日までとなりますので、ご注意ください。

【各地域局農業委員会事務局担当電話番号】

横手	☎32-2718	増田	☎45-5515
平鹿	☎35-2172	雄物川	☎22-2187
大森	☎26-2117	十文字	☎42-5116
山内	☎53-2934	大雄	☎52-3913

助役、収入役制度を廃止 4月から副市長、会計管理者に それぞれ名称が変わります

地方自治法の改正に伴い、市では4月1日から、助役に代えて副市長を、収入役に代えて会計管理者を配置することが決まりました。このことに関する条例は、市議会12月定例会で既に制定され、副市長に関しては定員を2名とすることなどが定められています。

副市長には石川耿一氏と小野タヅ子氏

副市長には、石川耿一氏（現横手市助役）が就任するほか、現在開催中（2月26日から3月20日まで）の市議会3月定例会において、小野タヅ子氏（現横手市会計課長）が新たに就任することが決まりました。



小野タヅ子氏
（56歳・平鹿町）

昭和25年生まれ。
昭和45年4月から旧平鹿町職員。議会事務局長などを経て、平成17年10月から横手市会計課長。

会計課からお知らせ

収入役制度から会計管理者制度への変更に伴い、4月1日以降に横手市から振り込みがある際の預金通帳等への記載が横手市収入役（ヨコテシユウニユウヤク）から横手市会計管理者（ヨコテシカイケイカンリシヤ）へと変更になりますので、あらかじめお知らせします。

環境 4月から粗大ごみ収集受付を 3月19日から開始します

4月から粗大ごみ収集は有料戸別収集となりますが、粗大ごみ収集に備え、受付センター業務を3月19日(月)から開始します。4月5日以前に収集日が指定されている地域の皆さんで収集を希望される方は、収集日の10日前までに受け付けを済ませてくださるようお願いいたします。

受付時間は平日の午前8時30分から午後5時までです。

この制度の大まかな流れ

- ①指定された収集日の10日前までに受付センターに連絡
- ②住所とお名前、粗大ごみの品目や大きさなどを伝え、収集日と手数料の額を確認
- ③収集券を必要枚数購入
- ④収集日に自宅前に収集券を貼った粗大ごみを出す
- ⑤業者が収集（立会いは不要です）

【各地域の粗大ごみ受付センター】

横手・山内	東部環境保全センター	☎33-3996
増田・平鹿・十文字	南部環境保全センター	☎42-5300
雄物川・大森・大雄	西部環境保全センター	☎26-2108

詳しくは、『ごみ分別おたすけ帳』をご覧ください。
いよいよ4月から新しいごみの分別が始まります。皆さんのご協力をお願いします。

問合せ 市福祉環境部環境課 ☎35-2184

福祉 障害者手帳をお持ちの方へ タクシー料金を助成します

市では、障がい者を対象としたタクシー料金の基本料金の助成を行っています。希望される方は、障害者手帳および印鑑をご持参のうえ、各地域局福祉保健課でタクシー券の交付を受けてください。

- 対象者
- ・身体障害者手帳1級～3級の方
 - ・療育手帳Aの方
 - ・精神障害者保健福祉手帳1級の方

交付枚数 年間最大24枚まで

交付開始 4月2日(月)から

問合せ 各地域局福祉保健課
または福祉環境部社会福祉課障害福祉担当
☎26-2112

障がいの表記について

市では、これまで「障害者」や「障害福祉」など、漢字で表記していた「害」について、今後はひらがなを用いることとし、市が発行する文書、広報紙等については「障がい者」や「障がい福祉」などと表記することにしました。

ただし、法律名、政令名、省令名、条例名、規則名およびそれらで使用されている用語、関係団体の名称、関係施設の名称など、固有の名称と判断されるものについては、漢字を用いることとします。

冬場の運動不足を解消

■ふだん着の体力づくり教室(大森)

3月5日、冬場の運動不足や筋力の衰えを感じている方を対象に、いつでもどこでも簡単にできる体操や食生活の改善などについて学ぶ「ふだん着の体力づくり教室」が大森コミュニティセンターで行われ、19人が参加しました。教室では、普段摂取する適量の食事のメニューやカロリーを説明。その後、タオルを使ったストレッチやペットボトルに水を入れてダンベル代わりにした体操、セラバンド(ゴムチューブ)を使った筋力トレーニングなどを行い、参加者は終始楽しい雰囲気心地よい汗を流していました。



セラバンドを使った筋力トレーニング



「はくちょうさんまたきてね!」というプラカードを持つ園児たち

白鳥との別れを惜しむ

■白鳥とのお別れ会(十文字)

3月8日、白鳥とのお別れ会が志摩地区の白鳥飛来地で行われ、三重保育所の園児たち46人から白鳥に「冬の間、たくさんの人たちを楽しませてくれてありがとう。また来年も、たくさん家族を連れて遊びにきてくださいね」と別れの言葉が送られました。

白鳥たちの世話をしてくれた白鳥クラブのボランティアの皆さんには園児たちから花束などが手渡され、また、会の終了後、園児たちが白鳥にパンを与えるなどして触れ合いの時間を楽しみました。

子どもたちの夢を乗せて

■紙風船上げ(山内)

3月3日、南郷地区で紙風船上げが行われました。これは、南郷スポーツ少年団6人と団員の父母らが、西木村の紙風船上げ経験者から指導を受けて始めたもので、今年で8回目となります。

風船作りでは、子どもたちが今年目標や将来の夢などをイラストとともに書き入れて完成。午後7時30分ころ、学習交流センターグラウンドで地域の皆さんが見守る中、子どもたちの夢を乗せた2つの紙風船は、夜空を明るく照らし、上空へと高く舞い上がっていきました。



紙風船内の熱気量を調節して打ち上げの準備をしています



激しいラリーが続いた一般男子優勝決定戦

白熱のラリー戦を展開

■大雄オープン卓球大会(大雄)

3月3日から4日にかけて、農業者トレーニングセンターで、第35回大雄オープン卓球大会が開催されました。この大会は、卓球を通して心身の健康づくりと愛好者の交流の機会になることを目指して市が主催したものです。3日は小学生の部とシニアの部、4日は中学生の部と一般の部が行われ、両日合わせて450人以上が参加しました。

試合では、選手たちの鋭く変化するサーブや粘り強いレシーブ、力強いスマッシュなどの好プレーが次々と披露され、熱戦が繰り広げられました。



「学校ってたのしいよ」と呼びかける栄小学校1年生の皆さん

学校の楽しさを一足早く体験

■横手市入学おめでとう大会(横手)

小学校への入学を目前に控えた児童の皆さんを応援する「入学おめでとう大会」が2月24日、横手市民会館で開催され、保護者を含む約500人が参加しました。

新1年生をお祝いして繰り広げられるステージショーでは、はじめに昨年4月に栄小学校に入学した1年生の皆さんが、学校生活の楽しさを全身で表現。さらに、吉田小学校スクールバンドや音楽教室の生徒による演奏、星あきらさんによる奇術と続き、参加した児童の皆さんは、4月から始まる新生活への期待に胸を膨らませていました。

森は海の恋人

■環境を考える講演会(増田)

地域の自然を知り、次世代に美しい自然を引き継いでいくことを目的に、増田地域センター運営協議会(加藤勝義会長)主催による環境講演会が3月3日、横手市増田ふれあいプラザで開かれ、約170人が参加しました。会では、宮城県気仙沼市在住で「牡蠣の森を慕う会」代表の畠山重篤氏を講師に、「森は海の恋人」と題した講演が行われました。漁民による植林活動を展開している畠山氏は「陸の森と海の森が健全でこそ地球の未来がある」と力説。参加者は、自然を守る大切さをあらためて考える機会となりました。



牡蠣やホタテの養殖に従事しながら環境活動を展開している畠山氏

学習の成果を発表

■吉田地区生涯学習発表会(平鹿)

2月25日、吉田地区生涯学習発表会が吉田地区生涯学習センターで開かれ、地域住民ら約100人が参加しました。これは、日ごろ公民館活動を通して学んでいる歌や踊りなどの成果を発表する場として、年度の締めくくりとなるこの時期に毎年開催されているもの。発表会では、日本舞踊や太極拳など、個人や団体がさまざまな芸能が披露されました。また、午後から行われたカラオケ発表のコーナーでは、歌手顔負けの歌声が次々と披露され、会場には終日、笑顔と笑い声があふれていました。



呼吸を整え太極拳を披露する吉田地区の皆さん

かんじき履いて難コースに挑む

■かんじきマラソン大会(雄物川)

3月4日、第7回「かんじきマラソン大会」が大沢地区の金峰山で行われ、市内外から参加した12人が起伏にとんだ約10キロのコースで健脚を競い合いました。

今年は暖かい日が続いたため雪が軟らかく、かんじきを履いていても足が埋まってしまう最悪のコンディション。参加者たちは、悪戦苦闘しながらも力強く登山道を駆け上がり、この季節にはめずらしいマンサクの花や頂上から見える横手盆地の雄大な景色を満喫すると、ゴールの三ツ森山林道入口を目指し、一気に駆け下りました。



勢いよく登山道を駆け上がる参加者

情報

● お知らせのページ ●

お知らせ



平成19年度の土地・家屋の評価額がご覧いただけます

市内に納税義務のある方は、市内の土地や家屋の評価額を記載した帳簿を縦覧することができます。また、縦覧期間中は固定資産課税台帳に掲載されている、ご自分の資産評価額や課税標準額を閲覧することができます。

ご覧いただく際は、申請者の身分を確認するための身分証明書(運転免許証、健康保険証等)を持参して窓口へお申し込みください。なお、代理人の場合には

市庁舎近隣住民の皆さん向け(午後2時～3時)

・横手市庁舎近隣住民の皆さん向け(午後3時30分～4時30分)

従来アナログ放送では、横手市庁舎近で電波障害が発生し、テレビ視聴のために庁舎からの放送ケーブルを必要としていました。しかし、地上デジタル放送に切り替えることで、アンテナを設置すると地上デジタル放送を受信することができます。詳しい内容について説明会を開催しますので、ご参加ください。

委任状が必要になります。

■縦覧期間 4月1日(日)～5月31日(木) 土日、祝日を除く

■時間 午前8時30分～午後5時15分

■縦覧場所 市財務部資産税課(横手市庁舎2階)

■閲覧場所 縦覧場所と同じ、または各地域局市民生活課

■問合せ 市財務部資産税課 ☎32-2767

地上デジタル放送についての説明会を開催します

■日時 3月23日(金)

・アンテナ設置事業所向け(午後2時～3時)

・横手市庁舎近隣住民の皆さん向け(午後3時30分～4時30分)

■場所 かまくら館5階

■問合せ 横手地域局地域振興課 ☎32-2111

産業廃棄物焼却施設変更許可申請書の縦覧について

合資会社五十嵐建設が横手市平鹿町醍醐字佐戸川地内に設置している、産業廃棄物の焼却施設に関する変更許可申請書および生活環境影響調査書を縦覧いたします。

なお、施設の変更により利害関係を有する方は、生活環境保全上からの意見書を提出することができます。詳しくは、お問い合わせください。

建築住宅

建築確認申請の提出先と納付方法が4月から変わります

市では、4月1日から建築確認申請事務の一部を行うことになりました。これに伴い、これまで各地域局地域維持課で受け付けをしていた確認申請を、一括して建設部建築住宅課指導担当(横手市庁舎4階)で行います。詳しくは、市のホームページをご覧ください。

- 市が確認を行う建築物(建築基準法6条1項4号に該当するもの)
 - (日)延べ面積100㎡以下の特殊建築物(共同住宅、料理店、飲食店、物品販売店舗、倉庫、車庫等)
 - (月)木造2階建て以下で、延べ面積500㎡、最高高さ13m、軒高9m以下のもの
 - (火)木造以外で平屋建て、延べ面積200㎡以下のもの
 - (水)工作物(煙突高さ6～10m、広告塔高さ4～10m、擁壁高さ2～3m)
- 確認申請の流れ(4月以降)
 - ・市が確認するもの…確認申請⇒市建築住宅課(確認)⇒返却
 - ・県が確認するもの…確認申請⇒市建築住宅課(経由)⇒秋田県(確認)⇒市⇒返却

※市が確認する建築物の確認手数料は現金納付となります。
- 問合せ 市建設部建築住宅課指導担当 ☎35-2224

平成19年度 前期技能検定のお知らせ

技能検定とは、技術者が持っている技能を一定の基準で検定するもので、合格すると法に基づいた「技能士」を称することができます。国家検定制度です。

受検を希望される方には申請書を無料で交付します。詳しくはお問い合わせください。

■申請期間 4月3日(火)～13日(金)

■問合せ 秋田県職業能力開発協会 ☎018-862-3510、または横手市総合技能センター ☎32-5783へ

催し



元気が出る子育てフォーラム

自信を持って、元気に子育てができるようなきっかけづくりを目指して、フォーラムを開催します。

当日は、女優の石井めぐみさんによる講演や、子育てに関わる業務に熱心に取り組んでいる方々のお話をご紹介します。

■日時 3月17日(土)午後1時

■場所 県庁第二庁舎8階大会議室(入場料無料)

あきたの環境を考える集い

県で実施している、環境について学ぶ講座「環境あきた県民塾」などを紹介します。また、俳優であり、日本野鳥の会会長の柳生博さんを講師に迎え「花鳥風月の里山」と題した講演を行います。

■定員 先着300人(事前左記へお申し込みください)

■申込先 県健康福祉部子育て支援課 ☎018-860-1342

■日時 3月17日(土)午後1時30分～4時

■場所 秋田県児童会館子ども劇場(入場料無料)

■定員 500人(先着順、申し込みは不要)

■問合せ 県生活環境文化環境あきた創造課 ☎018-860-1574

劇団ふるさとときやらばん公演「地震カミナリ火事オヤジ」

全国各地で上演活動を行っている「劇団ふるさとときやらばん」によるミュージカル公演です。ふるさとを守るために奮闘する消防団員の姿を通して、家族のあり方や地域の人々とのつながりなどが描かれた内容となっ

ています。たくさんの方のご来場をお待ちしています。

■日時 4月18日(水)午後6時30分開演

■場所 横手市民会館

■入場料 前売券3,500円(当日券は500円増、全席自由席)

■申込・問合せ 市福祉環境部市民課交通防災担当(大雄庁舎内) ☎35-2176、または各地域局市民生活課環境防災担当へ

横手高校写真部・美術部卒業生作品展

平成18年度の横手高校卒業生が制作した作品を展示します。生徒たちの3年間の思いがこもった作品を、ぜひご覧ください。

■期間 3月22日(木)～26日(月)

■場所 横手サテイト1階西側入口付近

■問合せ 横手高校写真部・美術部 ☎32-3020

講習講座



えがおの丘水泳教室新規会員を募集します

雄物川温泉えがおの丘では水泳教室を実施しています。年齢や目標に応じたさまざまなコー

スを用意しておりますので、お気軽にご参加ください。

■コース

- 学童(小学生)
- 成人(クローリング→背泳ぎ→平泳ぎ→バタフライのレベルアップコース)
- レディース(18歳以上)
- シルバー(50歳以上)
- アクアビクス(18歳以上)
- プール浴(40歳以上)
- エンジョイ・アクア(50歳以上 ※学童(小学一・二年生)の新規申し込みは、4月11日(水)午前10時からフロントにて受け付けします

■申込先 雄物川温泉保健施設 えがおの丘 ☎22-2221

■在任外国人のための日本語教室前期受講生を募集します

日本語を話すことができない在任外国人で4月から9月まで続けて受講できる方が対象です。

○横手教室(かまくら館で、毎週金曜日に開催)

○十文字教室(十文字文化センターで、毎週木曜日に開催)

■受講料 半年で3,000円(テキスト代は別途)

■申込先 市総務企画部男女共同参画推進室(本庁南庁舎内) ☎35-2158、または各地域局地域振興課へ



♪顔がいっぱい♪

いどばた プラザ

市民主催の催し等をお知らせするコーナーです

横手師仙書道展

横手師仙会の皆さんによる作品、約100点を展示します。
期間●4月1日(日)～3日(火)
時間●午前9時～午後5時(3日は午後4時まで)
場所●かまくら館5階(入場料無料)
問合せ●滑川さん ☎33-5767

栽培技術講習会

春花の手入れ方法や、せん定の仕方を学びます。
日時●4月1日(日)午前9時30分から
場所●横手南中学校ばら花壇
持ち物●せん定ばさみ、軍手(参加費無料)
問合せ●横手ばら会 藤本さん ☎32-6177

نانの館 月例市民将棋大会

日時●4月1日(日)午前10時から
場所●軽食喫茶「نانの館」
参加費●1,000円(昼食付き)
問合せ●佐藤さん ☎090-3365-2720

オカリナを吹いてみよう!

初心者を対象としたレッスンです。詳しくは、お問い合わせください。
期間●4月～6月までの月2回、日曜日に開催
場所●サンサン横手 音楽室
問合せ●日高見さん ☎090-4918-4674

歌の好きな人集まれ! 思いっきり歌声喫茶

「明日があるさ」や「ああ上野駅」など、数曲を予定。
日時●4月5日(木)午後7時開演
場所●レストラン煉瓦屋(寿町)
参加費●1,000円(軽食付き)
問合せ●レストラン煉瓦屋 ☎33-2811

横手山岳協会 第13回「山の写真展」

県内外で行った定例山行の記録や、会員が撮影した山と高山植物の写真、約60点を展示します。
日時●4月13日(金)～15日(日)午前9時～午後5時
場所●かまくら館5階(入場料無料)
問合せ●横手山岳協会 半田さん ☎32-4772

第6回県南地区少年少女空手道大会

県南地区で空手を学ぶ小・中学生が集まり、空手の技を競い合います。
日時●3月18日(日)午前8時30分開会
場所●平鹿体育館
問合せ●(社)日本空手協会平鹿支部 伊藤さん ☎25-3134

南部シルバーエリア「チャレンジ・ザ・春」

春の特別企画として、様々な物づくり教室を開催します。
日程●3月21日午前(陶芸)・午後(ステンシル)、24日午前(陶芸)・午後(染物)、25日午前(布ぞうり)午後(染物)(対象:小学3年生以上)
申込み●各教室の2日前まで電話でお申し込みください
問合せ●南部シルバーエリア ☎26-3880

硬式テニスで遊んでみよう!

硬式テニスでゲームなどを楽しみませんか。詳しくは、横手市テニス協会ホームページをご覧ください。
日時●3月21日(水)午後1時～3時
場所●横手体育館(参加費無料。申し込み不要)
問合せ●横手市テニス協会 高橋さん ☎33-7240
E-mail:yokote_tennis_association@yahoo.co.jp

とっぴんぱらりのプー 第73回昔語りの会

ふるさとの「昔っこ」を楽しみませんか。
日時●3月24日(土)午後1時30分から
場所●こうじ庵(鍛冶町)
問合せ●尾形さん ☎32-0630

ザルツブルガーゲビンデ展示会

ドイツとオーストリアに伝わる手工芸で、木の実やスパイス、造花などを束ねて作った作品を展示します。コースジュ作りの体験コーナー(1日限定20人)もあります。
期日●3月24日(土)・25日(日)
場所●ふるさと村手作り工房(入場料無料)
問合せ●菅原さん ☎090-7793-3007

アレルギー市民公開講座

アレルギーについて、専門の先生方を講師に迎え、講演会を開催します。アレルギー検査の実演・実体験コーナーも併せて行います。

- 日時 3月18日(日)午後1時
- 会場 平鹿総合病院大会議室
- 「秋田県における小児アレルギー性鼻炎の実態」
講師 本田耕平先生(秋田大学医学部耳鼻咽喉科講師)
- 「気管支喘息の話」
講師 木村啓二先生(秋田厚生連平鹿総合病院第二内科科長)

「アレルギーってなに?アレルギーのあれこれについて」
講師 萩原順一先生(秋田大学医学部臨床検査医学教授)

- 定員 100人程度
- 参加費 無料
- 問合せ 秋田大学医学部臨床検査医学講座 ☎018-884-6209

いきいきパワフル教室 第9期生を募集します

高齢者用の筋力トレーニングマシンを中心に、ストレッチや有酸素運動を取り入れた高齢者のための運動教室です。参加者

の年齢や体力に合わせて、誰でも無理なくできる内容です。お気軽にご参加ください。

- 期間 4月17日(火)～7月20日(金)までの週2回
- 時間 午後1時15分～3時15分
- 場所 南部シルバーエリア内 リハビリセンター
- 対象 おおむね65歳以上80歳未満で、介護認定を受けていない市民の方(送迎はありませんので、直接通える方)
- 参加費 5,200円(200円×26回) 定員12人
- 申込期間 3月16日(金)～4月6日(金)
- 申込先 大森地域局福祉保健課 ☎26-4030

募集

県営住宅の入居者募集中

県営住宅の入居者を募集しています。希望される方は、左記までお申し込みください。
■募集住宅 県営朝日が丘住宅(横手市朝日が丘3丁目13番)
■募集戸数 1戸
■募集期間 3月12日(月)～4月10日(火)
■申込先 県平鹿地域振興局建設部建築課 ☎21-6206

国税専門官採用試験

仙台国税局では、平成20年4月採用の税務職員を募集しています。詳しくは、仙台国税局のホームページをご覧ください。
■受験資格
・昭和53年4月2日～昭和61年4月1日生まれの方
・昭和61年4月2日以降生まれで、次に該当する方
①大学を卒業した方及び平成20年3月までに大学を卒業する見込みの方
②人事院が①と同等の資格があると認める方
■受付期間 4月2日(月)～13日(金)消印有効
■試験日
・第一次試験 6月10日(日)
・第二次試験 7月23日(月)～26日(木)のいずれか指定する日
■受験案内 横手税務署、仙台国税局人事第二課、人事院東北事務局で配布しています
■問合せ 仙台国税局人事第二課試験研修係 ☎022-263-1111

横手公共温泉 宿泊川柳イベント

上位入賞者発表

- 昨年5月から実施したこのイベントには、市内の公共温泉に宿泊された皆さんによる、横手にちなんだ川柳をたくさんご応募いただきました。
- 厳正な審査の結果、次の皆さんが上位作品に選ばれましたので、ご紹介いたします。(敬称略)
- 第一位(横手公共温泉宿泊ペアで招待+交通費付き) 平塚治子(宮城県)
 - 第二位(あきたこまち一俵提供!!) A秋田ふるさと、JAおものかわ「かまくらのいやし彩るよこの湯」 佐藤伸(宮城県)
 - 第三位(横手酒蔵の日本酒2升セット) 「雪遊びかまくら館で知った夏」 山方勉(大仙市)
 - 「よこの湯元気湧きゆく孫つれて」 大橋初代(秋田市)
 - 「優しくて横手の人も湯もうれし」 阿部幸(秋田市)
 - 浮き草や青き水面の鶴ヶ池」 小笠原勇(宮城県)
 - 「星数え見上げた場所はさくら荘」 藤田みゆき(秋田市)
 - 「四季通じ癒しの旅路 横手の湯」



お便りをくださった方の中から抽選で横手市の特産品等をプレゼントします。
※当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます
【締め切りは平成19年4月6日(当日消印有効)】

●植田のこうじや「天然醸造 味噌っこ」(十文字)



厳選された地場産の優良大豆と天然良質米のみを使用。200有余年の伝統の中で培われた製法によるまるやかな味が特徴の味噌1箱入り2パックセットを6名様に。

【提供】高橋麴店
☎44-3328

●名代三角そばや「生中華そばセット」(十文字)

麺、スープ、具材のすべてに厳選された素材を使用し、澄んだ旨味の魚介系あっさり醤油スープと細く縮れた麺が懐かしい「生中華そば」5食入りセットを5名様に。
【提供】名代 三角そばや
☎42-1360(本店)



POST CARD

013-8601

お手数ですが50円切手をお貼りください

横手市前郷字下三枚橋163

横手市役所
秘書広報課 行

フリガナ

◎ご氏名

◎年齢/ 歳 ◎性別/ 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所

電話 () -

◎ご希望のプレゼントを○で囲んでください

1. 天然醸造味噌っこ 2. 生中華そばセット

たより

ふれあい語り合い



読者の声

このページは読者の皆さんから寄せられた声にふれあう場です。いろいろな声をお寄せください。

方言の良さを未来に
大森「オレンジ」さん18歳

市報よこて2月15日号の「読者の声」を見て。日本一短い会話は「どさ」「ゆさ」だとありましたが、「け」「く」「つま」「食へなさい」「食へます」というのもあります。身のまわりにはたくさんの方言があふれていて、どれも共通語ではないと言わせない特有のニュアンスを含んでいます。高校に入学した3年前、高校生があまりなまっっていないことに、私はちょっとしたカルチャーショックを受け

ました。横手に昔からある素敵な方言を大切にしていきたいものです。

力を合わせて子・孫育て
増田「ありばば」さん57歳

市報よこて2月15日号の特集「子育てを楽しくも」にもう一言「孫育てを…」を加えて欲しい。親子別居が多い昨今、手を差し伸べても拒む若いお母さん達が増えているそうです。いろんな知識をたくさん蓄えている祖父母を敬遠せず、もっと

「子育てを楽しくも」にもう一言「孫育てを…」を加えて欲しい。親子別居が多い昨今、手を差し伸べても拒む若いお母さん達が増えているそうです。いろんな知識をたくさん蓄えている祖父母を敬遠せず、もっと

利用して欲しいと思います。本よりも生きた知識が大事な事時にはありますよ。

みんなのかまくら
平鹿「笑顔ほほえます」さん60歳

何年ぶりかで横手のかまくらに行きました。ちょうどかまくらの入口で、甘酒をご馳走になるうとしていた時、他県からのお客様が背後から手を出し、ふうふう言いながら一口。そして一言、美味しい。その言葉を聞いた時心から嬉しかった。自分が褒められているような…。

心温まるひととき
横手「ぶくりん」さん29歳

茨城県水戸市から転居して2年半。先日のかまくらは、猛吹雪という悪天候の中ではありませんでしたが、親子で足を運びました。そこで、横手市と友好都市である茨城県那珂市の看板を掲げているかまくらが目にとまりました。那珂市は水戸市と隣接しており、ただ同郷というだけで会話が弾み、とても心が温かくなりました。

小学生の努力に感激
横手「アトロを見たママ」さん38歳

先日、かまくらを見に行った今から私はみんなに言っています。「卒業式は泣くから笑わないでね」と。

昔のまちづくりにあれこれ
雄物川「昭和のM.Kさん」56歳

今、どこの商店街にも人がいません。私達の町では商工会が主体となり、町に人が集まるようにと週一回、商工婦人部をはじめとして、山菜、その他いろいろなものを作って出しています。ところが、いつも来てくれる人は同じ人、それも数えるくらいしかいません。何が足りないのでしょうか。

時、小学生から手作りパンフレットをいただきました。かまくらやぼんでのん事が詳しく書かれていて、イラストや配置などもとてもよく工夫されています。これを製作するまで下調べ等でたくさん時間をかけたはず。しかも、当日は悪天候…。それを考えるとこのパンフレットが、いとおしくて。生徒さん達にとって一生忘れられない思い出になったと思います。来年はどんなパンフレットをいただけるのか楽しみが増えました。

今わかる横手の魅力
横手「松静」さん72歳

「思えば遠くへ来たもんだ」の愛読者の一人です。雪深いこの街によく来てくれたもんだと感心します。だんなさんがよほど魅力的なんでしょう。小生の娘共2人は雪が嫌でふる里を捨てました。四季のメリハリが良いくらいではとても住む気になれないと親も思っていました。今は別。そこで一句

地元でこんな楽しい施設が
大森「A.N」さん65歳

「人生の恋の春には四季が無い」先日、横手市合併1周年記念市内施設無料券を利用し、妻と近所のお母さんの3人で平鹿町ゆとり館に行きました。今まで、大仙市内外、岩手県湯田と近隣のいろいろな温泉に行きましたが、ゆとり館で風呂を浴び、休憩室では次から次へとお客さんがカラオケを歌い、こんな楽しい温泉は初めてです。約三時間

若者の要望をまちづくりに
横手「ネコマン」さん

横手に住みやすい所ですが、若い人たちが帰省しても集う所がないと思うのです。遊ぶにしても、遠くへ行ってしまう。若い人たちがターゲットにしたアンケートを取るなど、何か方法がないものかと思っています。

気持ち春に向かって
大雄「K.S」さん56歳

1月に凍み大根用につるしましたが、凍った日がなく冷たい

風がないので失敗してしまいました。白菜も畑に集めていたものは頭の方が痛んでいました。雪投げがないこと、車で出て行く人の心配をあんまりしなかったこと、暖冬で良かったことはもちろんです。春になったら畑もまたがんばりたいです。

「雪まつりを終え、このまま春に…」などと考えていたのがおよそ1か月前。なのに今、市報を作成しながら窓の外を眺めるとまるで真冬のような銀世界です。春の足音も歩調を整えているようです。

巧

TAKUMI
たくみ

【其の十七】



新山さんが考案したブレーキ機構
ブレーキレバーを握ると、ワイヤーによりブレーキ板が引き上げられ、てこの原理でタイヤに触れる仕組み。

ブレーキ機構付き「ねこ」で実用新案登録

新山 昭吾さん (64歳・平鹿)

大切なのは改革の気持ち

金属製のフレームに車輪が一つ付いただけのシンプルな構造。手押し一輪運搬車(いわゆる一輪車)は、住宅建築現場や工事現場、さらには農作業などに欠かせない名脇役である。

「使い慣れたはずの一輪車。しかし、ベテランでもバランスを崩してしまうことがしばしば」特に、生コンを扱う建築現場では、決して作業効率が良いとはいえなかったという。問題はどこにあるのか。

巧は、ブレーキ機構を付けることを思いついた。試行錯誤と制動実験を重ね、車輪の接地面を直接押さえつける現在の方式が完成。実際に使用してみるとなるほど、それまで不安定だった車体が、前後はもちろん、あらゆる方向軸に対して安定感が増す。まさにありそうでなかった一品である。

巧の発明はこれだけではない。「不便さを嘆くことは誰にでもできる。重要なのは、変えたいという意識があるかどうかでしょう。物事を見る角度を少し変えるだけで、ひらめくんですよ」半世紀にわたり、建築業として多くの顧客の夢をかなえてきた巧は、常に自分の夢も追い求めている。



昭和17年、平鹿町生まれ。中学校を卒業後、大工の道を志し、修行を重ねる。21歳で独立し現在に至る。平成11年には、ブレーキ機構付き一輪車を考案し実用新案登録を受ける。



発明、それは夢を追い求めること……

大森地域

福田美代子さん(55歳)



鹿児島県鹿児島市出身。夫・長女・次女の4人家族

美代子さんは、鹿児島県鹿児島市の出身。夫の一行さん(大森出身)とは、お互いの兄弟が職場結婚したのを機に出逢い、32歳のときに結婚されました。短大や就職先も地元だったため、それまで鹿児島を出る機会がほとんどなかったという美代子さん。しかし、「嫁ぎ先の大森は山の緑が多くて、初めてきたときから気持ちやすらぐのを感じました」と話し、地域に馴染むのも早かった様子です。結婚後は、内職をしながらの子育てや畑での野菜栽培など、家計を支える主婦として忙しい日々を

思えば遠く来たもんだ

No.17

送られてきました。

生まれ育った鹿児島での思い出を伺うと「実家は海沿いでしたので、桜島を眺めながらした海水浴などが印象的です。南国なので、四季はあっても年中温暖な気候でしたね。そう言えば、横手に来て初めて霜焼けというのを体験したんですよ」と、そのときの驚きを楽しそうに語る美代子さん。

「横手と鹿児島。遠く離れてはいますが、実際に暮らしてみると生活や人というものに大きな違いは感じません。住めば都、まさにこの言葉の通りですね」と、にっこり笑う笑顔から、この地を愛する温かな思いが伝わってきました。



読者プレゼントにご協力を

市報よこてでは、市内業者の皆さんへ「読者プレゼント」へのご協賛をお願いしています。

横手市内にあるたくさんの特産品や名産品を市報を通して市民の皆さんに知っていただくと共に、市内全世帯に配布される広報紙を活用した商品の宣伝に、ぜひ市報よこてをご活用ください。

■連絡先 秘書広報課：広報広聴担当(☎35-2162)

編集後記

◆4月1日に開院する新平鹿総合病院。新病院で提供されるさまざまな高度医療の中でも、小さな命を守る周産期医療機能の充実が、心から歓迎したいもの。取材資料で何度も目にする「NICU」の文字。うれしさと懐かしさが込み上げた。(卓)

◆今年は雪が少なく、開催が心配だった「かんじきマラソン大会」。長靴で取材に行ったが、雪が解けていて、膝までぬかぬか。かんじきを履いた参加者も走るが大変そうでした。それにしても、取材後に頂いた豆腐汁の味は格別でした。(完彦)

◆もうすぐ30代。多少迷いながら「おじさんのカメラを見て」。保育園児たちには全く違和感ない様子。一方、「小学校に入學したら何するの」という質問には園児たちが迷いのない返事。自信を持って、迷いのない自分をジサンになろう。(孝春)

◆先日、あるスポーツ大会を取材。熱戦が繰り広げられるコートの外では、監督の大声と選手たちの涙。側にいるだけで胸が熱くなる懐かしさ、純粋さを感じた。来年はコートの中で彼女たちの笑顔が輝くようにとエールを送りたい。(小百合)

◎お便りをお寄せください。

【増田地域】

県指定有形文化財(考古資料)

板碑(貞治碑)

青御影石の上部に胎蔵界大日如来を表す梵字と、蓮華の模様が刻まれている「板碑」。

板碑は、大正13年(1924)に増田小学校校舎を増田城跡に移転させる際、整地作業中に南の土星から掘り出されたもので、増田城築城の際に人柱となった姫の35日忌にあたる、

貞治2年(1363)6月9日、菩提を弔うために建立されたものといわれています。

板碑は、高さ175cm、幅56cm、厚さ31cmもあり、自然石の供養碑のなかでも特に大型なものとして、昭和37年に県の有形文化財(考古資料)に指定されています。

次代に継ぐ我が至宝

よこて遺産

No.17

THE YOKOTE HERITAGE